

番号	1
項目	教職員の未配置、教職員不足が大きな社会問題となっています。一番被害を被っているのは子どもたちです。教育予算を増やし、正規の教職員を増やすよう強く要望します。
<p>(回答)</p> <p>教育委員会では、この間、教員採用において、退職者数を上回る採用を行うことで、正規教員を増やし、講師率を下げるよう努めてまいりました。</p> <p>また、今年度（令和6年度）より、教員が安心して産休・育休を取得できる職場環境、ひいては、子どもや保護者が安心できる学習環境を実現するために、全国初の制度として「本務教員による欠員補充制度（特別専科教諭）」を導入しました。</p> <p>本制度では、産休・育休等による年度途中の欠員を補充するため、法律に基づく教員定数に加えて、市独自の予算において、本務教員を採用し（令和6年度：小学校50名/中学校15名、令和7年度以降：小学校100名/中学校30名（予定））、年度途中で欠員が発生した場合の代替教員（特別専科教諭）として配置することで、年度途中の教員不足を抜本的に解消することを目的としております。</p> <p>今後も引き続き、国に対して定数改善を要望していくとともに、教職員の未配置の解消のため、様々な取組みに努めてまいります。</p>	
担当	教育委員会事務局 教務部 教職員人事担当 電話：06-6208-9125

番号	2.
項目	<p>テスト漬け・競争主義の教育が子どもたちを苦しめ、不登校などの要因となっています。大阪市版「チャレンジテスト」「大阪市小学校学力経年調査」の廃止を求めます。</p>
<p>(回答)</p> <p>「大阪市版チャレンジテスト plus」につきましては、生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにすること、学校が生徒一人一人の学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用すること、学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てることを目的として実施しております。</p> <p>「大阪市小学校学力経年調査」につきましては、児童及び保護者が、自身及び子どもの学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにすること、各学年について統一した問題を実施することにより、児童一人一人の学習理解度及び学習状況等を客観的・経年的に把握・分析し、学校における授業改善や児童一人一人に応じたきめ細かな指導の充実等を図り、組織的かつ継続的な学力向上施策の検証改善サイクルを確立すること、幼小中高における学びの連続性を確保する観点から義務教育段階で身に付けておかなければならない力を確実に定着できるようにすること、児童の学習理解度及び学習状況等を把握し、各校の課題や教員の指導力に応じた支援の充実を図ることを目的とし、実施しております。</p>	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	3.
項目	教員の持ち授業時間（コマ数）の上限規則とその削減を求めます。
<p>(回答)</p> <p>本市では、今年度より小学校教科担任制に向け、各小学校及び義務教育学校（前期課程）に専科指導加配を配置し、学びの質の向上と教師の持ち授業時数の軽減のため、高学年に加え、小学校中学年についても教科担任制を推進しています。</p>	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	4.
項目	本年度、中学校教科書の採択にあたり、戦争美化・改憲誘導の教科書を生徒に渡さぬよう、保護者、市民の願いに応え、教職員など教育現場の声を尊重されること。
<p>(回答)</p> <p>教科書採択における調査の観点や選定の基準につきましては、教育基本法、学習指導要領、大阪市教育振興基本計画などに基づいて、作成されております。日本国憲法や教育基本法、大阪市教育振興基本計画などに則り、個人としての尊厳を重んじ、尊重するような配慮、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことについての配慮が含まれるものと考えます。</p> <p>また、保護者や学校協議会委員をはじめ市民の皆様に教科書や教科に対する理解を深めていただけるよう教科書展示会を実施しております。教科書展示会では、市民の皆様に教科書への関心を持っていただくとともに、教科書について広く意見を集めることを目的として、アンケートを設置しております。アンケートの集約結果並びに皆様からいただいたご意見やご感想につきましては、教科書採択にあたっての参考資料の一つとして、教育委員、選定委員にお伝えしております。</p> <p>採択にあたりましては、大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則に基づき、教科用図書選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置することとし、教育委員会が諮問し、選定委員会が調査、研究を経て作成した答申を参照し、採択を行います。選定委員会は、採択地区ごとに専門性の高い校長及び教員で構成される専門調査会と、各学校の校長及び教員で構成される学校調査会を設置しており、現場教員による調査の結果が選定委員会に報告されます。調査会等が作成する資料については、文部科学省の通知に則り、採択権者の責任が不明確になることのないよう留意しつつ、採択権者の判断に資するよう一層充実したものとなるよう努めてまいります。</p>	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	5.
項目	<p>万博現場で爆発事故があり、その安全性が確認されていません。熱中症対策や行き帰りの交通状況の安全性にも不安が残っています。現地での活動内容や活動時間や場所も決められないまま、招待事業への申し込みだけが、上意下達で進行しています。教育課程上大きな問題を残しています。</p> <p>教育と安全性より、「万博動員」の色彩が濃い学校単位での万博招待事業の中止を強く求めます。</p>
<p>(回答)</p> <p>2025年日本国際博覧会への児童・生徒招待事業につきましては、大阪の児童・生徒が、未来社会の革新的な技術やサービスを直接体験することによって、将来に向けた夢と希望を感じることができるようにするとともに、未来の大阪の持続的な発展の担い手の育成に繋げることを事業目的として、大阪府教育庁より、大阪府内各市町村の教育委員会に対して、学校単位での無料招待の実施を検討するように連絡を受けているところです。</p> <p>本市教育委員会といたしましては、連絡の内容を踏まえて、市立の全小中学校及び義務教育学校の児童生徒の2025年日本国際博覧会への安全な参加について、大阪府教育庁と連携しながら、検討を行ってまいります。</p>	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186